

こまつ市民大学第6期講座

○講座名

こまつの里山に学ぶ「和ハーブ」の魅力と自然との共生

【三井住友海上火災保険(株)・コマニー(株)寄附講座】

○講師紹介

一般社団法人和ハーブ協会 代表理事 古谷 暢基

博士（医学） （一社）和ハーブ協会理事長、日本ダイエット健康協会代表理事、日本ルーシーダットン普及連盟、O.I.U.C.M（国際代替医療大学）日本校学長などを務める。“日本医療の父”で、第1回ノーベル医学賞最有力候補だった北里柴三郎の血を引く。「賢い健康市民づくり」を旗頭に、わかりやすい健康・予防医学・医療の啓発に日々奔走する。著書、TV出演等多数。



Furuya Masaki

古谷 暢基

“健康こそ幸せのベース。わかりやすく医療・健康の知識や情報を啓発し、賢明な選択のできる市民作りによって、日本の幸せ指数を底上げしていく”が人生のミッションである。斬新で実践的な数々の健康と美のビジネスを仕掛ける一方、プロデューサー的活動、講演、メディア出演などに駆け回る日々。

曾祖父は同志社大学の創始メンバーで日本にプロテスタントを広めた不破唯次郎。その妻（曾祖母）は“日本医療の父”北里柴三郎の従妹で京都大学病院初代看護師長として近代医療の発展に努めた北里ゆう。

○講座内容

「和ハーブ」とは、江戸時代前から日本人とともに生き、有用されてきた植物たちのことです。海外由来のハーブやアロマセラピー、漢方も素晴らしいですが、日本にも自分たちの文化や風土に合わせて育ったハーブが私たちの足下にはたくさんあります。日本人らしい健やかさ、美しさ、感性を与えてくれる「和ハーブ」を切り口に、小松の里山の可能性や、食、SDGs、地方創生との関わり方を一緒に考えましょう。

こまつ市民大学第6期講座

○こんな方におススメ

- ・親子での参加もOK！一緒に楽しく学べます！
- ・日々の生活をいったんリセットしたい方！
- ・自然のパワーをもらいたい方！
- ・座学だけでなくフィールドワークで体感しながら学びたい方！
- ・今まで知らなかった和ハーブの力を日常に取り入れて豊かに暮らしたい方！
- ・予防医学にもなる！家族や子どもをご自身で守りたい方！
- ・日本のスーパーフード！和ハーブの魅力を知りたい方！
- ・小松の里山で足元のたからものを一緒に発見しませんか！



先生のお話を聴くと、これまで何気なく生活していて、あたりまえとおもっていたこと、メディアなどから聞いたり見たりする常識と思っていたこと、、、「え？そうだったの？」「しらなかった！」とおどろくことばかりです！！私たちが生活しているほんとに近くに、まさに、足もとに、こんなすてきな宝ものがあるんです☆多々、たくさんの方に体感しながら、自然から多様性のすばらしさを学び、小松の里やまの可能性、食の大切さ、SDGs、地方創生とのかかわり方を体感しながら一緒に学びましょう！！かなり楽しいです☆多々たくさんのお申し込みをお待ちしております！